

2026 年 10 月 21 日

Press Release



株式会社日比谷アメニス

【国土交通大臣賞受賞】第 42 回都市公園等コンクール ダブル受賞のお知らせ

—長岡公園再整備工事・和田堀公園園地整備工事—

2026 年 10 月 1 日、株式会社日比谷アメニス（本社：東京都港区、代表取締役：伊藤幸男、以下当社）は一般社団法人 日本公園緑地協会が主催する第 42 回都市公園等コンクールにて、再整備のための造園工事・建築工事を担当した長岡公園について、国土交通大臣賞を受賞いたしました（※¹）。また、園地整備工事を担当した和田堀公園が国土交通省都市局長賞に選定されました（※²）。当社としては 2 年連続での国土交通省都市局長賞受賞となり、本年度は国土交通大臣賞とのダブル受賞を果たしました。

※¹受賞団体（敬称略）：長岡京市/株式会社村田製作所/株式会社空間創研/

株式会社 SALHAUS/株式会社日比谷アメニス

※²受賞団体（敬称略）：日比谷・伍楽・八海建設共同企業体

（構成団体：株式会社日比谷アメニス/株式会社伍楽園/株式会社八海樹園）



▲子どもの遊び場を中心に再整備した長岡公園



▲親水空間を整備した和田堀公園

《都市公園等コンクールとは》

供用を開始している都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営に係る作品を広く募集し、特に優秀なものを表彰することにより、都市公園の設計、施工および管理運営等の技術水準の向上および新たな時代の都市公園の創造に寄与することを目的に一般社団法人日本公園緑地協会が主催するコンクールです。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日比谷アメニス 広報室 担当：岡部

メールアドレス：press@amenis.co.jp

電話番号：03-3453-2403

2026 年 10 月 21 日

Press Release



AMENIS

<https://www.amenis.co.jp/>

■公民連携により子育て空間を共創—長岡公園再整備工事

長岡公園は 1982 年の供用開始から 40 年以上が経過し、施設の老朽化や樹木の繁茂が顕著な状況から速やかな改修が必要でした。そこで、2022 年に長岡京市と株式会社村田製作所様との間で地域社会の発展を目的とした長岡公園の再整備事業のための協定を締結。「多様な人々が集い、安らぎ、公園で過ごす時間を楽しむこれからの長岡公園」をコンセプトに子育て世代を重点対象として環境整備を推進し、2025 年 9 月にリニューアルオープンしました。

《評価されたポイント》

- ・ 資金面にとどまらず、民間の人材やノウハウを活用した公民連携により、基本構想から施工・寄贈までをわずか 3 年で完遂するなど、効率的で効果的な事業推進のモデルケースを提示したこと
- ・ 日陰を提供し授乳室や遊び場を備えた大屋根の休憩所をはじめ、それと一体的に活用できるイベント広場、緑化駐車場などの新設を通じて、子育て世代をはじめ誰もが来訪しやすい新たな居場所を創出した取り組み

■「安心できる居場所」をめざし、リニューアル工事から指定管理まで担当



▲公園活動の拠点となるセンター棟「fuRari」

このたび、心地よい日影を提供する大きな屋根のセンター棟「fuRari」を新設し、授乳室や小上がりなどと連携した乳幼児の遊び場、子どもの遊び場、イベント利用も可能な憩いの広場など、子育て世代が気軽に足を運び、多様な人々の居場所となる空間を整えました。

当社は本事業において、2024 年 4 月から 2025 年 8 月までの工期で、造園工事と建築工事の調整を図りながら両工事を円滑に進めました。リニューアルオープン以来指定管理も担当しており、イベントやレクリエーションも定期的に開催しています。まちと自然が調和した多世代の憩いの場を提供するとともに、子育て世代など地域の方々が安心できる居場所づくりをめざしています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日比谷アメニス 広報室 担当：岡部

メールアドレス：press@amenis.co.jp

電話番号：03-3453-2403

2026 年 10 月 21 日

Press Release



■憩いの親水空間を創出—和田堀公園園地整備工事

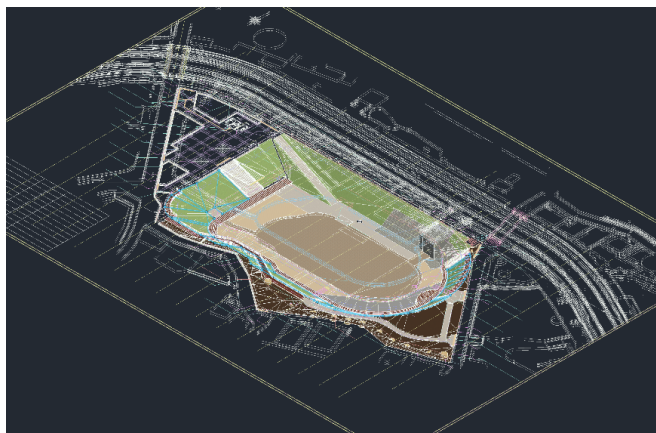
和田堀公園は 1964 年に開園した公園で、善福寺川沿いに和田堀池、野球場等のスポーツ施設、郷土博物館、広場等が点在しており、都民の憩いの場となっています。和田堀公園調節池は、洪水時には河道延長 10.5km の一級河川である善福寺川の調節池として機能する施設です。

2024 年 12 月から 2025 年 9 月の期間でリニューアル工事を行い、平常時に人々に潤いを与える親水空間として利用できるよう、デッキや広場、樹木や芝生などの植栽を新たに整備しました。

《評価されたポイント》

3D や ICT 活用による施工効率化と安全性確保に加え、脱炭素への配慮や社内への積極的な知見共有を図った点

■ICT 施工、環境対応、情報共有で生産性・施工品質を向上



▲点群データと 3D モデルの統合で合意形成を円滑化



▲CO₂排出量削減に貢献するバイオ炭を施用

施工では、現地の点群データと設計図の 3D モデルを統合することで、完成イメージをつかむだけでなく、施工前に整合性を確認し発注者との合意形成が円滑になりました。現場管理においても、仮設計画や施工シミュレーションで施工管理業務の生産性向上に貢献しました。

また小型油圧ショベルに対応したアンテナ・位置情報システムの導入により狭小スペースながら ICT 施工を実施し、業務効率化と安全性確保を実現しました。

さらに、環境負荷低減のため低燃費型建設機械を使用し、ソーラーシステムハウスを設置したほか、土壌には剪定枝由来のバイオ炭を施用するなど CO₂ 排出量削減に配慮した施策を複数実施。これらの取り組みを、ICT 重機の体験会や情報交換会を通じて社内で共有しました。

今後も、ICT 施工や環境対策の導入を継続し、社会課題に対応しながら、地域住民など利用者に愛される付加価値の高い公園づくりに貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日比谷アメニス 広報室 担当：岡部
メールアドレス：press@amenis.co.jp
電話番号：03-3453-2403

2026 年 10 月 21 日

Press Release



一般社団法人 日本公園緑地協会公式 WEB サイト「都市公園等コンクール受賞作品一覧」
<https://www.posa.or.jp/summary/summary06/prize/>

■株式会社日比谷アメニス 会社概要

「Amenity Scape Creation＝快適空間の創造」を企業理念に、設立当初から多くの造園施工・緑地メンテナンス案件を手掛けるほか、指定管理者や Park-PFI 事業者として公園などの公共施設の管理運営・整備にも携わるなど、みどりに関する様々な事業を展開し、社会・環境に貢献しています。

会 社 名：株式会社日比谷アメニス (<https://www.amenis.co.jp/>)

代 表 者：代表取締役 伊藤 幸男

本社所在地：〒106-0047 東京都港区南麻布 3-20-1 Daiwa 麻布テラス 4 階

設 立：1971 年

資 本 金：3 億円

社 員 数：563 名（2026 年 4 月現在）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日比谷アメニス 広報室 担当：岡部

メールアドレス：press@amenis.co.jp

電話番号：03-3453-2403